

## 学校運営協議会 議事録

校名	大阪府立八尾支援学校
校長名	古川 綾子
准校長名	山崎 夏生

開催日時	令和6年2月28日(水) 10:00 ~ 12:00
開催場所	本校 図書室
出席者(委員)数	6名
出席者(学校)数	11名
傍聴者	2名
資料	令和5年度学校教育自己診断の結果について【報告】、令和5年度学校経営計画及び学校評価、令和6年度学校経営計画及び評価、3学期授業アンケート結果、八尾支援学校における人権尊重の指針

## 議題等(次第順)

- 校長挨拶
- 報告① 令和5年度学校教育自己診断
- 報告② 令和5年度学校経営計画の評価
- 検討① 令和6年度学校経営計画(案)
- 報告③ 3学期授業アンケート結果
- 報告④ 八尾支援学校における人権尊重の指針
- 報告⑤ 本校のブログ
- 質疑応答
- 准校長挨拶

## 協議内容・承認事項等(意見の概要)

- 校長挨拶
  - ・元日には能登半島で地震が発生し、本校でも地震に対する備えをしっかりと行わなければならない。
  - ・施設設備では、雨漏りがあった廊下や屋根の改修、プレハブ棟の屋根に断熱材を入れる工事などを行った。児童生徒が安全に生活できるように引き続き改善に向けて努力したい。
  - ・地域支援では、本校の夏季研修に地域の小中学校の先生が100名以上来校された。また、地域の学校からの相談件数は300件以上あり、支援教育のセンター校として今後も力を入れていきたい。
- 報告① 令和5年度学校教育自己診断
  - ・項目ごとに目標値からの達成率や数値の上昇下降(昨年度比)について、考察を交えて報告
- 報告② 令和5年度学校経営計画の評価
  - ・学校教育自己診断アンケートの結果と分析、授業力向上、ICT機器の活用、キャリア教育の推進、初任者・ミドルリーダーの育成、防災プロジェクトチーム、人権尊重に関わる研修、業務効率化、外部機関との連携などについて報告
- 検討① 令和6年度学校経営計画(案)
  - ・学部を超えた公開授業と研究協議の実施、校務分掌の改編、こころとからだの学習への取り組み、縦割り授業の検討・試行、人権委員会の定期的開催、業務効率化(メール会議、デジタル化)、高等学校への支援などについて提案
- 報告③ 3学期授業アンケート結果
  - ・全学部概ね良好な評価を保護者よりいただいている。結果を受けて今後の授業改善に努めていく。
- 報告④ 八尾支援学校における人権尊重の指針
  - ・行動制限の指針の内容を見直した。
- 報告⑤ 本校のブログ
  - ・本年度はブログを掲載できる教員を増やし、昨年より掲載回数を4倍以上に増やすことができた。今後も積極的な情報発信に努めていく。
- 准校長挨拶
  - ・学校教育自己診断アンケートの結果からも課題がたくさん見えた。児童生徒・保護者の気持ちに寄り添い、様々な課題に対して今後検討を重ねていく。

【質問および回答】

《学校教育自己診断アンケート結果に関して》

Q：保護者と教職員のアンケートに類似項目が2つあるが、どちらも保護者の肯定的意見の方が低い。どのように分析しているか。

A：学校での取り組みが保護者へ伝わっていないことが考えられる。保護者が感じていることを真摯に受け止め、改善に努めたい。

Q：生徒（高等部）向けアンケートの数値が全体的に下降しているが、今後どのように取り組んでいくのか。

A：否定的意見は増えていない項目もあるので、「わからない」の回答が増えている。今後は、日々の生徒との関わりなど一つひとつのことを丁寧に取り組んでいくことで、より深く丁寧に向き合い関わっていけると考えている。

《学校経営計画に関して》

Q：高等部の生徒数減少の考えられる原因は何か。

A：進路先が多様化していることもあるが校区割りが大きく影響している。

《その他》

Q：災害時の備蓄品はどこに保管しているのか。また備蓄品リストはあるのか。

A：グラウンドにある共用倉庫に保管している。備蓄品リストは学校BCP（事業継続計画）に記載している。

Q：登校が難しい生徒への進路支援などはどうしているか。

A：在学中に相談支援事業所等との繋がりを持ってもらうように働きかけている。また、保護者とのコミュニケーションをしっかりと取るように意識している。

Q：地域支援整備事業に予算などはつくのか。

A：今年度の実績に基づいて次年度の地域支援の教員に加配がつくなどの査定がある。

Q：家庭訪問の頻度はどれぐらいか。

A：新1年生のみ家庭訪問を行い、他学年は来校していただいて懇談会を実施している。

【意見感想】

《学校教育自己診断アンケート結果に関して》

- ・教職員の提出率は100%をめざしてほしい。
- ・保護者の提出率向上の工夫を行ってほしい。
- ・アンケート結果から、学校での取り組みが保護者へ伝わっていない可能性が考えられるので、丁寧な情報発信と児童生徒・保護者の気持ちにしっかり寄り添ってほしい。
- ・教職員アンケートのいじめや体罰に関する項目で否定的意見が少しあるが、しっかり検討していただき、否定的意見ゼロをめざしてほしい。
- ・保護者の防災意識は高まってきている。防災に対する学校での取り組みを発信していくことが、学校教育自己診断アンケートの肯定的意見の上昇に繋がっていくと思う。

《学校経営計画に関して》

- ・生徒数が減ると教員数も減るので、教員同士のフォローの難しさがある。小中高の一貫した取り組みが大切である。
- ・教員数が多い中ではあるが、学校経営計画を全教員へしっかり浸透させていくことが大事である。

《その他》

- ・ガソリンとLPガス両用の自家発電機が災害時に役に立つと聞いたので備蓄の検討をされてはどうか。